

令和8年度山田小学校放課後キッズクラブ安全計画

1. 安全点検

(1) 運営・活動場所にかかる安全点検（専用区画以外の場所についても定期的に使用する場合は実施を検討すること）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
重点点検箇所	・施設・設備安全点検 ・防火管理者による消防点検 ・利用児童確認	・施設・設備安全点検 ・エアコン点検、清掃	・施設・設備安全点検 ・防火管理者による消防点検	・施設・設備安全点検 ・防火管理者による消防点検	・施設・設備安全点検 ・防火管理者による消防点検	・施設・設備安全点検 ・防火管理者による消防点検
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
重点点検箇所	・施設・設備安全点検 ・防火管理者による消防点検	・施設・設備安全点検 ・エアコン点検、清掃	・施設・設備安全点検 ・防火管理者による消防点検	・施設・設備安全点検 ・防火管理者による消防点検	・施設・設備安全点検 ・防火管理者による消防点検	・施設・設備安全点検 ・防火管理者による消防点検

(2) マニュアル（指針）の策定・共有

分野	策定期期	見直し（再点検）予定時期	掲示・管理場所
安全管理・危機管理マニュアル（指針）	2026年4月1日	2027年3月31日	管理：PCクラウド内
☒ おやつ・食事	2026年4月1日	2027年3月31日	管理：事務室書庫
☐ 事業所外での活動			
☐ バス等車両の送迎 (※実施している場合のみ)			

2. 児童・保護者に対する安全教育等

(1) 児童への安全教育

	4~8 月	9~12 月	1~3 月
1 年生	・施設・設備や遊具の正しい使い方 ・保護者による、お迎え(4月中) ・熱中症対策	・地震や火災などの災害発生時の安全な避難の仕方	・不審者侵入時の安全な避難の仕方
2・3 年生	・施設・設備や遊具の安全な使い方 ・熱中症対策	・地震・火災などの災害発生時の安全な避難の仕方と安全な避難場所の確認	・不審者侵入時の安全な避難の仕方
4 年生以上	・施設・設備や遊具の安全な使い方 ・熱中症対策	・地震や火災などの災害発生時の安全な避難の仕方と安全な避難場所の確認	・不審者侵入時の安全な避難の仕方

(2) 保護者への周知・共有

上半期	下半期
・安全管理・危機管理マニュアルについて ・警報発表時等の対応について ・クラブ来所及び退所におけるルールの徹底	・避難・消防訓練の実施報告 ・クラブで発生した事故について（要因分析・対策等の説明）

3. 訓練・研修

(1) 避難訓練等

条例第6条第2項の規定に基づき定期的に実施する避難及び消火に対する訓練

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
テーマ・ 取組					避難訓練(地震)及び消火 訓練	
参加 予定者					当日出勤スタッフ 利用児童	
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
テーマ・ 取組						避難訓練(地震)及び消火 訓練
参加 予定者						当日出勤スタッフ 利用児童

(2) その他訓練

訓練内容	実施予定時期 (時期と回数を記載)	参加予定者
119 番通報訓練	5月 (年1回)	スタッフミーティング参加者
救急対応 (心肺蘇生法、気道内異物除去、AED・エピペン®の使用等)	6月 (年1回) ※新規スタッフについては、適宜実施	スタッフミーティング参加者
不審者対応訓練(110 番通報訓練等)	9月	スタッフミーティング参加者
来所・帰宅時における非常時対応訓練	4月	スタッフミーティング参加者
その他 (バス等車両の送迎における見 落とし防止等)		

(3) 安全管理・危機管理に資する職員への共有・研修等（法人・クラブ実施）

4~8 月	9~12 月	1~3 月
・安全計画の周知 ・安全管理・危機管理マニュアルの共有 ・個人情報保護研修 ・けが等の応急手当研修 ・熱中症対策研修 ・クラブ内で発生した事故報告（スタッフミーティング）	・食物アレルギーへの対応研修 ・クラブ内で発生した事故報告(スタッフミーティング) ・感染症（インフルエンザ・ノロウイルス等）への対応	・衛生管理研修 ・クラブ内で発生した事故報告（スタッフミーティング）

(4) 安全管理・危機管理に資する行政等が実施する訓練・講習スケジュール（予定）

※こども青少年局・区役所等、法人以外が実施する各種訓練・講習スケジュールについて参加目途にかかわらず記載する

・衛生管理、アレルギー対応、防犯、防災(地震対策講話)（6月～7月） ・心肺蘇生（6月～2月 ※8月を除く） ・応急処置（6月～2月 ※8月、11月、12月を除く）
--

4. 再発防止策の徹底（ヒヤリ・ハット事例の収集・分析の方法等）

・スタッフミーティングにおいて、クラブで起きたヒヤリ・ハット事例について共有・要因分析を行い、議事録へ記載。 ・日々の怪我について日誌に記入を行ない共有。 ※事故発生時には、市指定様式にのっとり客観的状況を確認・記載し、要因分析を行い、再発防止策を共有。 ・クラブで起きたヒヤリ・ハット事例や発生した事故内容の要因分析を踏まえ、安全計画・マニュアルを見直す（年1回以上、適宜）
--